

士別市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

- ・農村地域を運行する路線では、急速な少子高齢化や過疎化の進展により利用者が大幅に減少するなかで、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通となるよう運行体制の見直しが求められている。
- ・特に武徳地域は、利便性向上と効率化の両立を図るなかで、予約状況に応じた臨機応変で広範囲をカバーした運行をすることにより、新たな利用者の拡大を図る必要がある。
- ・地域間幹線系統名寄線と接続する武徳地域へのフィーダー系統として、維持・確保が必要である。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ・デマンド化による一定のコスト削減のもと、持続可能な運行体制を確立する。
 - ・地域内を広範囲にカバーし、フットワークのよい運行体制を確立する。
 - ・スムーズな予約受け付け体制やホスピタリティの向上など、利用促進のための環境づくりを進める。
 - ・通学での固定化した利用者のみならず、通院や買い物等での高齢者の利用促進を図る。
 - ・武徳小学校の閉校に伴う通学利用の増加に対応するとともに、安全で快適な運行をめざす。
- [目標値] 運行サービス向上による利用促進 20.0人/日
高齢者の利用促進 40人/月

令和2年度事業概要

武徳線(士別駅-武徳12号間)をデマンド運行

地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(士別駅、下士別駅、多寄駅、瑞穂駅)
- ・道北バス(株)(市内1路線)
- ・士別軌道(株)(市内12路線)
- ・スクールバス(4路線)

協議会開催状況

- 令和2年3月25日 令和元年度 第6回(書面)
- ・公共交通ガイドマップの作成
 - ・令和2年度事業計画 ほか

- 令和2年6月18日 令和2年度 第1回(書面)
- ・公共交通ガイドマップの作成
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画 ほか

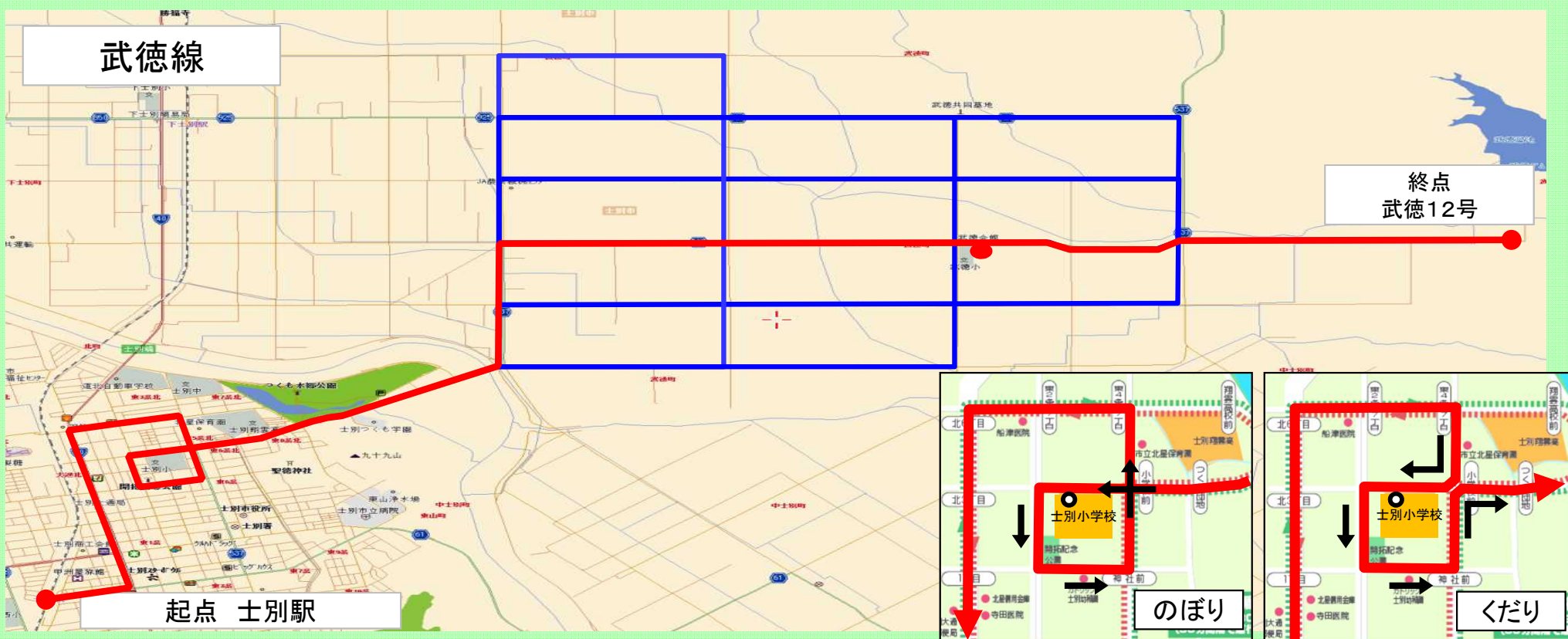
- 令和3年1月20日 令和2年度 第3回(書面)
- ・地域内フィーダー系統事業評価について ほか

令和2年度事業の実施状況

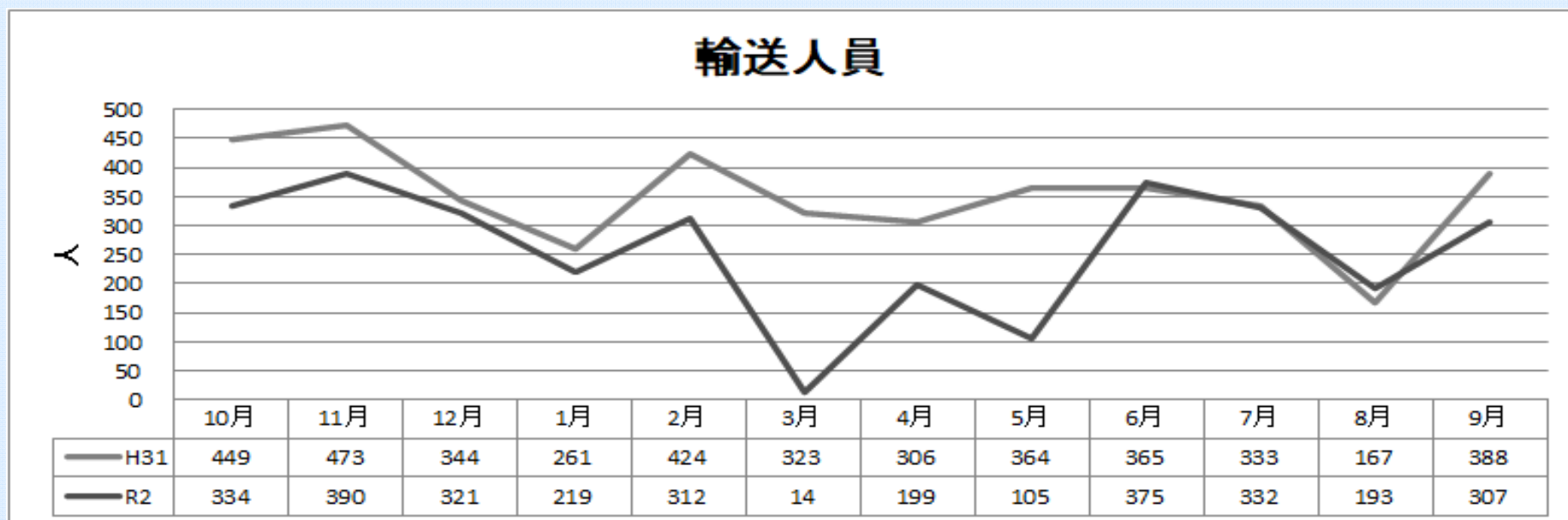
1) プロセス、創意工夫

- ・平成31年3月に策定した地域公共交通網形成計画に沿った全市的な利用促進の取り組みを行った。
- ・公共交通マップを更新し、市内を走るバス・タクシーの写真掲載、また、都市間バスの時刻表や郊外線の時刻表を追加するなど、より多くの方々に活用していただけるよう改善を行った。

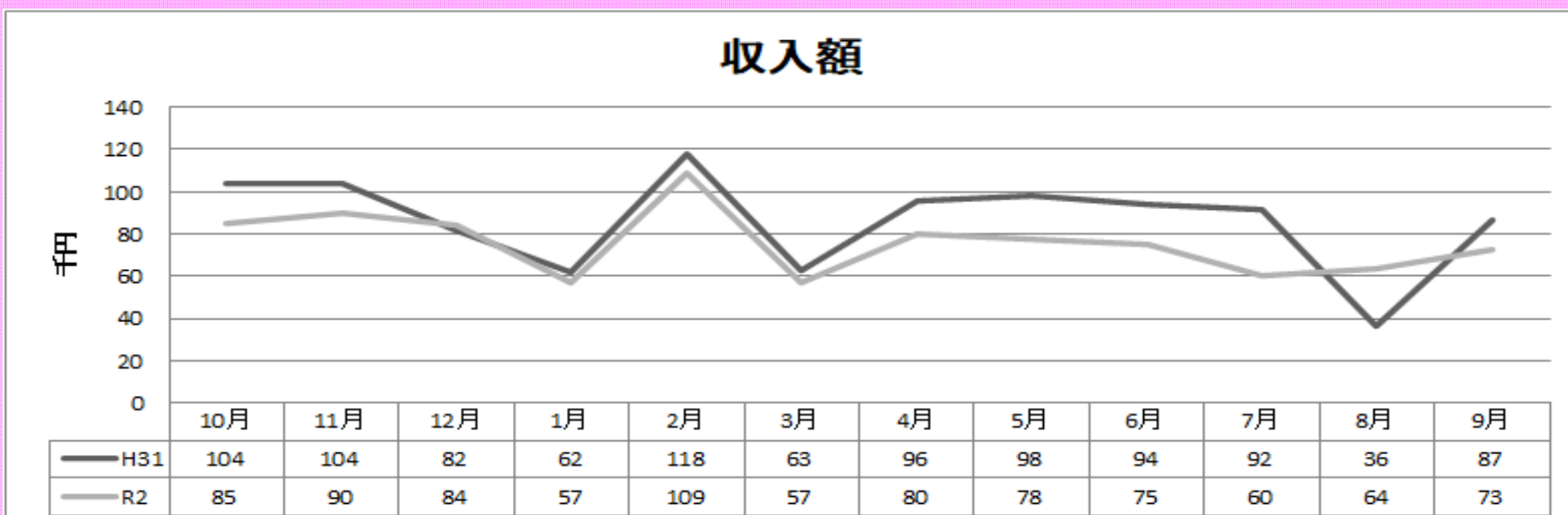
2) 運行系統



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

感染症対策に注力しつつ、地域公共交通網形成計画に沿った全市的な利用促進の取り組みを通じ、新たな利用者の掘り起こし等をめざして取り組みを進めていきたい。

6) 目標・効果達成状況

乗車人数は、目標20.0人/日に対して15.7人/日であった。

⇒スクール利用の小学生の減少やコロナ禍における休校措置などにより利用減となったと考えられる

高齢者の利用は、目標40人/月に対して17.9人/月であった。

⇒コロナ禍における出控えなどにより利用減となったと考えられる

8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成することができなかったが、引き続き地域公共交通網形成計画に基いた利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。